

事業群評価調書(令和6年度実施)

基本戦略名	1-3 長崎県の未来を創る子ども、郷土を愛する人を育てる	事業群主管所属・課(室)長名	教育庁 学芸文化課	岩尾 哲郎
施策名	2 郷土を愛し、地域を支える心豊かな人材の育成	事業群関係課(室)		
事業群名	⑥ 創造性や独創性など豊かな人間性を育てる子どもたちの文化芸術活動の推進	令和5年度事業費(千円)	※下記「2. 令和5年度取組実績」の事業費(R5実績)の合計額 34,750	

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 本文)		(取組項目)								
子どもたちの文化力の向上と裾野の拡大を図るため、市町教育委員会や中学校文化連盟、高等学校文化連盟と連携し、中・高の文化芸術活動の充実と活性化に取り組みます。また、子どもたちの豊かな人間性を育むため、鑑賞や成果発表の機会を提供します。		i) 中高文化部活動への支援や研修機会の実施 ii) 小・中・高校生への優れた芸術の鑑賞機会、成果発表機会の提供								
事業群	指標	基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標(年度)	(進捗状況の分析)	
	「子ども県展」への応募率	目標値①	/	75.0%以上	75.0%以上維持	75.0%以上維持	75.0%以上維持	75.0%以上維持		75.0%以上維持(R7)
		実績値②	74.7% (R元)	79.6%	82.0%	83.2%	/	/		進捗状況
達成率②/①		/	100%	100%	100%	/	/	順調		
事業群	指標	基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標(年度)	(進捗状況の分析)	
	中学校における休日の文化部活動を地域へ移行する体制を構築した市町数	目標値①	/	/	/	2市町	5市町	21市町		21市町(R7)
		実績値②	1市町 (R4)	/	/	2市町	/	/		進捗状況
達成率②/①		/	/	/	100%	/	/	順調		
令和5年度も、80,000人を超える応募があった。平成17年度に県の主催事業となって以降、募集方法の改善や、作品づくりの授業への組み込みなどを推進した結果、令和5年度は令和4年度に続き80%を超える応募率となった。また、令和5年度から文化部活動地域移行推進事業を実施したため、指標を追加した。文化部活動地域移行推進事業は、県内の中学生が、学校の部活動に代わりうる持続可能な文化活動の機会を身近な地域で確保できる体制を整備することを目的として、休日の文化部活動の段階的な地域移行を推進している市町に対して支援を行っている。令和7年度までに全市町の体制整備を目標としており、令和5年度は2市町が地域移行の体制を構築した。										

2. 令和5年度取組実績(令和6年度新規・補正事業は参考記載)

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	事業費(単位:千円)			事業概要	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)			令和5年度事業の成果等	
				R4実績	うち一般財源	人件費(参考)		R4目標	R4実績	達成率		
取組項目 i	○	1	中学校・高等学校文化活動推進事業費	23,379	23,114	6,123	●事業内容 中学校・高等学校の文化活動の推進と裾野の拡大を図ることを目的として、積極的に活動する部活動等を指定し、その活動に対する助成を行うとともに、県総合文化祭及び全国総合文化祭への参加経費等を補助する事業。 ●実施状況 中学校24クラブ、高等学校22クラブに対して助成を行い、高等学校では19部、中学校では11部が九州大会以上に出場した。また、県総合文化祭開催経費の補助や、全国総合文化祭の参加費用の補助等を行った。	【活動指標】	43		43	100%
				22,623	22,623	6,128			46	46	100%	
				22,367	22,367	5,447			44	/	/	
			H18-			—			【成果指標】	85	85	100%
			学芸文化課	—	—	—	中学生、高校生、教員	強化指定種目(中・高)のうち九州大会以上に出場した部活動の割合(%)	86	78	90%	
				—	—	—			86	/	/	

取組項目 i	○	2	文化部活動地域移行推進事業費	801	16	3,830	<ul style="list-style-type: none"> ●事業内容 本県中学生が、学校の部活動に代わりうる持続可能な文化活動の機会を身近な地域で確保できるよう、休日の文化部活動の段階的な地域移行を推進している市町に支援を行う事業。 ●実施状況 2回の在り方検討委員会及び3回の地域移行検討会を行った。また、市町による実証事業を行い、休日に学校と地域団体とが連携した地域クラブ活動を実施した。 	【活動指標】				<ul style="list-style-type: none"> ●事業の成果 ・在り方検討委員会及び地域移行検討会の協議内容を参考にして、全市町が地域移行に向けての検討を開始した。 ・実証事業における指導者招聘による専門的な指導が子どもたちの文化活動に対するモチベーションの向上につながった。 ●事業群の目標達成への寄与 ・文化部活動地域移行推進のための体制整備を行うことにより、子どもたちの文化活動の機会が確保され、文化芸術活動の推進に寄与した。
				3,361	469	5,447		在り方検討委員会及び長崎県文化部活動の地域移行検討会の開催回数(回)	5	5	100%	
			R5-7	—				【成果指標】				
			学芸文化課	—	—	—		中学校における休日の文化部活動を地域へ移行する体制を構築した市町数(市町)	2	2	100%	
取組項目 i	○	3	部活動指導員配置事業費	136	68	3,827	<ul style="list-style-type: none"> ●事業内容 教員の超過勤務の是正や負担軽減及び専門的かつ効果的な指導ができる人員の確保に取り組む学校に対して指導員を配置し、支援を行う事業。 ●実施状況 県立高等学校に2名配置した。指導員の配置時間と教員の負担軽減等の効果についての状況確認を行い、年度末には指導員の配置効果等に係るアンケート調査を実施した。 	【活動指標】				<ul style="list-style-type: none"> ●事業の成果 ・配置校では、教員の部活動に従事する時間が縮減されるとともに、部活動指導員が専門的な実技指導を行うことにより、教員の負担軽減につながった。
				845	845	6,128		文化部活動指導員の配置数(人)	3	3	100%	
				1,419	1,145	3,891		【活動指標】				
			R2-	—				文化部活動指導員の配置時間以上に教員が部活動に従事する時間を縮減した学校の割合(%)	2	2	100%	
			学芸文化課	—	—	—		【成果指標】	100	100	100%	
								配置校における当該部活動担当教員のうち負担を軽減できたと感じた教員の割合(%)	100	100	100%	
取組項目 ii	○	4	魅力あふれる児童生徒の作品展開催事業	2,213	2,213	4,592	<ul style="list-style-type: none"> ●事業内容 子どもたちの図画工作・美術に対する意欲・関心を高めるとともに、創造の喜びを味わわせ、表現力の向上及び学習成果の発表を通して豊かな情操の育成を図るための作品展を開催する事業。 ●実施状況 県内小・中学校の児童・生徒を対象とする作品を募集し、計85,503名の参加があった。また、優秀な作品の表彰及び展示(総合展・巡回展)を3市で行った。 	【活動指標】				<ul style="list-style-type: none"> ●事業の成果 ・「子ども県展」に向けた制作を通じて、表現力の向上と、県内の子どもたちの図画工作・美術に対する意欲・関心を高めることができた。 ●事業群の目標達成への寄与 ・多くの子どものために創造の喜びを味わわせることを通じて豊かな情操の育成を図ることができ、目標達成に寄与した。
				3,111	3,111	4,596		子ども県展参加校数の割合(%)	100	89	89%	
				3,067	3,067	3,891		【成果指標】				
			H18-	—				子ども県展応募者数(人)	78,267	85,605	109%	
			学芸文化課	—	—	—			77,082	85,503	110%	
					75,606							

取組項目 ii	○	5	子ども舞台芸術鑑賞事業	6,974	6,974	4,592	【活動指標】 青少年劇場公演数(公演) 【成果指標】 R4.5: 青少年劇場鑑賞者数(人) R6-: 文化にもっと触れたいと感じた子どもの割合(%)	22	22	100%	●事業の成果 ・優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供することで、子どもたちの伝統・文化に対する理解を深め、豊かな感性や情操を育むことができた。 ●事業群の目標達成への寄与 ・子どもたちに舞台芸術の鑑賞機会を提供することにより、文化芸術活動の充実に寄与した。	
				5,013	5,013	4,596		16	16	100%		
				4,616	4,616	3,891		17				
			社会教育法			4,884		4,556	93%			
			H18-			3,929		3,913	99%			
	学芸文化課			—	—	—	97					
	○	6	ながさき“若い芽”のコンサート開催費	2,218	2,218	4,592	【活動指標】	1	1	100%		●事業の成果 ・クラシック音楽を志す子どもたちの発表の機会としてのコンサートを開催することで、子どもたちの豊かな心の育成と文化芸術活動に取り組む人材の育成が図られた。 ●事業群の目標達成への寄与 ・成果指標目標値には届かなかったが、多くの子どもたちに発表の機会を提供することができ、文化芸術活動の充実に寄与した。
				2,357	2,357	4,596	コンサート開催回数(回)	1	1	100%		
				3,172	3,172	3,891	2					
			社会教育法			【成果指標】	158	173	109%			
S62-			オーディション応募者数(人)	160	145	90%						
学芸文化課			—	—	—	163						

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

<p>i 中高文化部活動への支援や研修会の実施</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題 中高文化部活動は、全国大会において上位入賞や連続出場を果たすなど優れた成績を収めており、中高文化部活動への支援や研修会の実施が成果として表れている。引き続き文化活動の推進と裾野の拡大を図るため、継続的に支援を行っていく必要がある。 文化部活動地域移行は、段階的な地域移行を進める市町を支援することで、学校の部活動に代わりうる持続可能な文化活動の機会の確保に寄与している。今後も、地域の指導者の確保や地域の文化環境の整備推進を図る必要がある。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性 中高文化部活動においては、県中学校文化連盟及び県高等学校文化連盟と連携し、引き続き、積極的に活動する部活動の活動経費の助成や、県総合文化祭開催及び全国総合文化祭の参加費等の補助を行っていくことで、子どもたちの文化活動機会の充実に図る。 文化部活動地域移行においては、文化活動の指導者を身近な地域で確保するため、指導者等人材リストの整備、活用を強化していく。また、持続可能な文化活動の機会を確保するため、市町に対して、地域移行に向けた実証事業の活用推進を図る。</p>
<p>ii 小・中・高校生への優れた芸術の鑑賞機会、成果発表機会の提供</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題 音楽、古典芸能、児童劇などの優れた舞台芸術鑑賞事業は、離島地域を含む多くの子どもたちに舞台芸術の鑑賞機会を提供することで、豊かな感性や情操を育むことに寄与している。本事業は、子どもたちが優れた舞台芸術に直接触れることのできる有効な施策であるため、継続していく必要がある。 「子ども県展」は、県内小・中学校の図画工作・美術における学習活動の成果を発表する機会として広く定着し、子どもたちの目標の一つとなっている。県内小・中学校の参加率は80%を超えており、県内多くの子どもたちの図画工作・美術における意欲・関心の向上に寄与することができている。その一方で、80,000人以上の参加にかかる膨大な集計業務に対する施策を講じることや特別支援学校の児童生徒の参加数を伸ばしていくことが必要である。 「ながさき“若い芽”のコンサート」は、子どもたちの発表機会として広く定着し、クラシック音楽を志す県内の子どもたちの目標の一つとなっている。今後は、生涯にわたって音楽に親しむ人材を育成し、さらなる文化活動の活性化を図る。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性 舞台芸術鑑賞事業は、引き続き学校間の合同開催や近隣住民の参加等を促すことで、多くの子どもたちや地域住民に舞台芸術の鑑賞機会を提供し、文化芸術活動の充実に図る。 「子ども県展」は、市町教育委員会及び県造形教育研究会と連携し、kintoneを活用した業務改善や特別支援学校の参加拡大を図りながら、引き続き、子どもたちの図画工作・美術の意欲・関心を高めていくとともに、学習活動の成果を発表する機会を提供する。 「ながさき“若い芽”のコンサート」は、大人を対象としたコンサート等と連携した世代を超えた交流や、地域のプロ団体との貴重な交流の機会を確保し、子どもたちの技術や表現力の向上に寄与するとともに、引き続き、子どもたちの感性と豊かな心を育むため、音楽発表の機会を提供する。</p>

4. 令和6年度見直し内容及び令和7年度実施に向けた方向性

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	令和6年度事業の実施にあたり見直した内容 ※令和6年度の新たな取組は「R6新規」等と、見直しがない場合は「―」と記載	令和7年度事業の実施に向けた方向性		
			事業期間		事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
			所管課(室)名				
取組項目 i	○	1	中学校・高等学校文化活動推進事業費	文化芸術活動の活性化を図るため、前年度に続き、県高等学校総合文化祭における茶道部・華道部の活動機会の確保を支援することとした。また、県中学校総合文化祭開催費用の増額を行い、県内の中学生の文化活動の推進を図ることとした。	②	高等学校においては、引き続き地域や市町・学校の枠を越えた文化活動の推進を図り、県総合文化祭開催の支援や専門部の設置など、文化活動の活性化を図る。 中学校においては、平成30年度第18回全国中学校総合文化祭長崎大会の成果を継承し、引き続き文化活動の充実と活性化及び生徒の文化に対する意欲向上を継続的に図る。 また、中学校、高等学校ともに、積極的に活動する部活動の活動経費を支援していく一方で、地域移行推進の在り方を併せて検討していく。	改善
			H18-				
			学芸文化課				
取組項目 i	○	2	文化部活動地域移行推進事業費	―	②⑤⑧	持続可能な文化活動の機会を身近な地域で確保できる体制を整備するため、地域移行モデルの構築及び検証を行い、その成果を市町へ周知する。 また、引き続き指導者等人材リストの整備や指導者への講習会を実施することで、指導者の質と量の確保を図るとともに、国の事業を活用して、地域移行を段階的に進める市町への経費支援を行う。	改善
			R5-7				
			学芸文化課				
取組項目 i	○	3	部活動指導員配置事業費	―	②⑤	文化部活動指導員について、本県配置校や他県での有効な活用事例の情報収集を行う。 また、それらの情報や検討内容について、各種会議等の機会を捉え県内市町へ広め、文化部活動指導員配置、活用の利点の周知に努めるとともに、更なる効果的な活用方法について検討を行う。	改善
			R2-				
			学芸文化課				
取組項目 ii	○	4	魅力あふれる児童生徒の作品展開催事業	子どもたちのさらなる文化活動の活性化や裾野の拡大を図るため、展示数の少ない特別支援学校への参加のよびかけを強化するとともに、県造形教育研究会と連携して、kintoneを活用した業務改善システムの再試行を行うこととした。	②	引き続き、子どもたちが図画工作・美術の作品を発表する機会を提供することにより、子どもたちの図画工作・美術に対する関心を高めるとともに、豊かな情操の育成を図る。また、県造形教育研究会との連携を密に図りながら、より多くの子どもたちが参加できるよう働きかけるとともに、システムの構築を通して、業務負担の軽減及び効率化を図る。	改善
			H18-				
			学芸文化課				
取組項目 ii	○	5	子ども舞台芸術鑑賞事業	舞台芸術鑑賞が子どもたちの文化に対する意識の醸成にどのように関与したかを調査するため、令和6年度よりアンケートを実施することとした。また、舞台芸術鑑賞の一部に体験プログラムを追加し、文化芸術活動に対する理解を深め、豊かな心の育成を図ることとした。	②	音楽・古典芸能・児童劇など優れた舞台芸術の鑑賞機会を引き続き提供することにより、伝統・文化に対する理解を深め、子どもたちの豊かな感性や情操を育み、より一層の文化活動の振興を図る。今後も、学校間の合同開催や近隣住民の参加等を促すことで、多くの子どもたちや地域住民に舞台芸術の鑑賞機会を提供し、伝統・文化に直接触れる楽しさなど意識の醸成を図っていく。	改善
			H18-				
			学芸文化課				
取組項目 ii	○	6	ながさき“若い芽”のコンサート開催費	「ながさき“若い芽”のコンサート」の開催に加え、「若い芽」のコンサートin私の町の文化財を開催予定である。世代を超えた交流の場を確保し、生涯にわたって音楽を親しむ人材の育成や、長崎の文化財を活用した貴重な演奏発表の機会を設けることで、子どもたちの感性と豊かな心の育成を図ることとした。	②	子どもたちの音楽の発表機会として広く定着し、クラシック音楽を志す子どもたちの目標の一つとなっていることより、県文化団体協議会等と連携して、子どもたちの発表の機会を確保していく。また、「ながさきピース文化祭2025」に向け、長崎県の文化財を活用した貴重な発表の場を設けることで、音楽を通して平和の尊さを発信していくとともに、感性や豊かな心を育み、さらなる文化芸術活動の機会充実を図る。	改善
			S62-				
			学芸文化課				

注:「2. 令和5年度取組実績」に記載している事業のうち、令和5年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができているか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点